

# 特集 2013年漁業センサス結果（佐賀県）



【佐賀県 統計分析課 調査分析第二担当】

■詳細については下記ホームページでもご覧になれます。

さが統計情報館

検索

■報告書については統計分析課内行政資料室に

## 1 漁業センサスの沿革

漁業センサスは、昭和24年3月に第1次センサスを実施して以来、5年ごとに実施しているものであり、今回が第13回目漁業センサスとなる。

## 2 調査の目的

2013年漁業センサス(指定統計第67号)は、漁業の生産構造、就業構造及び漁業生産の背後条件の実態と変化を総合的に把握し、水産行政諸施策の策定に必要な基礎資料を整備することを目的とする。

## 3 調査の概要

調査の範囲	海面に沿う市区町村及び漁業法第86条第1項の規定により農林水産大臣の指定した市町村
調査の対象	・漁業経営体 ・漁業従事者世帯
調査の系統	都道府県経由で調査する。
調査の期日	平成25年11月1日

## 4 調査実施対象市町及び対象数

有明海区	佐賀市、鹿島市、小城市、嬉野市、神崎市 江北町、白石町、太良町
松浦海区	唐津市、伊万里市、玄海町

	平成15年	平成20年	平成25年
経営体数	2,457	2,123	1,871
漁業就業者	5,244	4,877	4,260

平成25年11月1日現在で実施した2013年漁業センサスにおける海面漁業調査結果としては、個人経営体及び団体経営体ともに減少し、漁業経営体数及び漁業就業者数が減少した。それに伴い漁船の隻数、トン数とも減少した。

漁業経営体とは・・・ 過去1年間に利潤・生活の資を得るために、水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所。

漁業就業者とは・・・ 満15歳以上で過去1年間に自営漁業又は漁業雇われの海上作業に年間30日以上従事した者

統計表中の記号

「 △ 」 …… 減少したもの

「 0.0 」 …… 単位未満のもの

## 1 漁業経営体

### (1) 漁業経営体数

平成25年の海面漁業経営体数は1,871経営体で、前回調査の平成20年に比べ252経営体(11.9%)減少した。

海区域にみると、松浦海区は793経営体で、平成20年に比べ112経営体(12.4%)減少し、有明海区では1,078経営体で、平成20年に比べ140経営体(11.5%)減少した。

さらに、10年前の平成15年と比べると、松浦海区は255経営体(24.3%)、有明海区は331経営体(23.5%)がそれぞれ減少した。

図-1 漁業経営体の推移

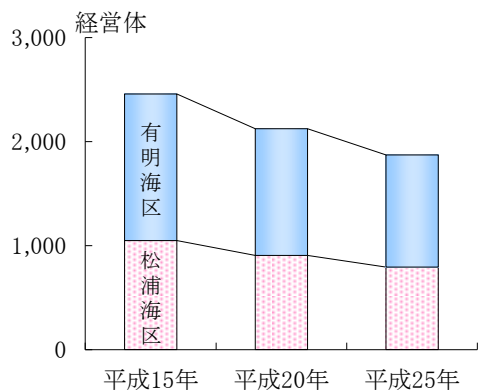
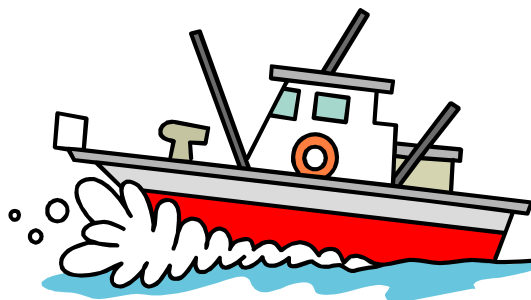
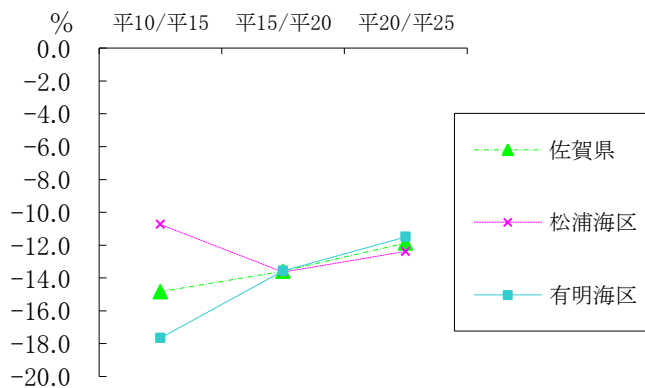


図-2 漁業経営体の減少率



表－1 海面漁業経営体数

(単位:経営体、%)

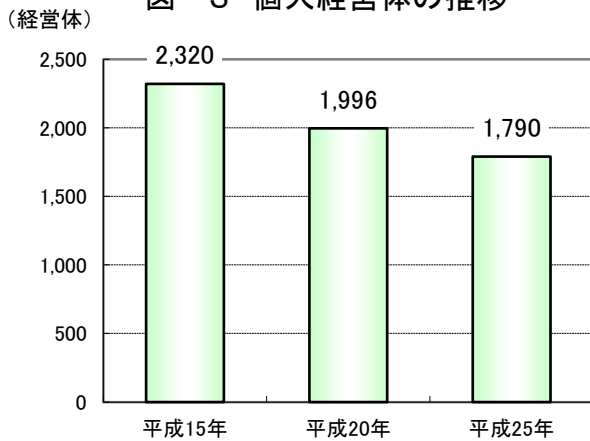
区 分	経 営 体 数			増 減 率		
	平成15年	平成20年	平成25年	平10/平15	平15/平20	平20/平25
全 国	132,417	115,194	94,503	△ 12.1	△ 13.0	△ 18.0
九 州	35,255	30,046	25,710	△ 12.1	△ 14.8	△ 14.4
佐 賀 県	2,457	2,123	1,871	△ 14.8	△ 13.6	△ 11.9
松浦海区	1,048	905	793	△ 10.7	△ 13.6	△ 12.4
有明海区	1,409	1,218	1,078	△ 17.7	△ 13.6	△ 11.5

(2)経営組織別経営体数

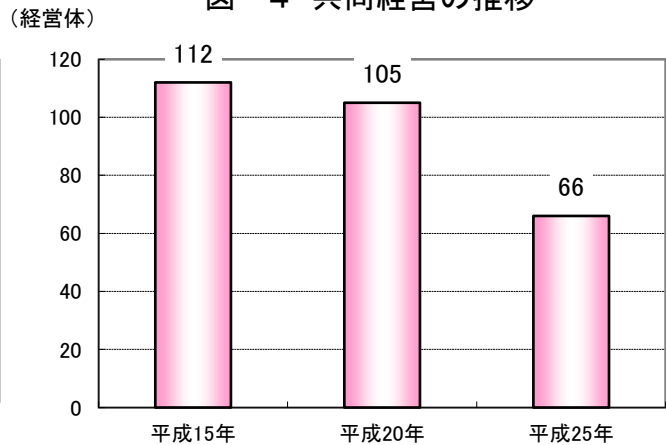
経営組織別の経営体数は、個人経営体が1,790経営体で全体の95.7%を占めており、平成20年に比べ206経営体(10.3%)が減少した。

団体経営体は81経営体で、平成20年に比べ46経営体(36.2%)減少した。このうち、共同経営は39経営体減少し、66経営体となった。

図－3 個人経営体の推移



図－4 共同経営の推移



表－2 経営組織別経営体数

(単位:経営体、%)

区 分	経 営 体 数			増 減 率	構 成 比		
	平成15年	平成20年	平成25年	平20/平25	平成15年	平成20年	平成25年
計	2,457	2,123	1,871	△ 11.9	100.0	100.0	100.0
個人経営体	2,320	1,996	1,790	△ 10.3	94.4	94.0	95.7
団体経営体	137	127	81	△ 36.2	5.6	6.0	4.3
会 社	9	9	10	11.1	0.4	0.4	0.5
漁業協同組合	12	11	4	△ 63.6	0.5	0.5	0.2
漁業生産組合	2	1	1	0.0	0.1	0.0	0.1
共 同 経 営	112	105	66	△ 37.1	4.5	4.9	3.5
その他	2	1	0	△ 100.0	0.1	0.0	0.0

### (3) 主な漁業種類別経営体数

過去1年間に営んだ漁業種類のうち漁業種類別の経営体についてみると、のり養殖経営体が最も多く808経営体(構成比43.2%)、次いで、釣り・はえ縄356経営体(同19.0%)、刺し網196経営体(同10.5%)の順となっている。

図-5 主な漁業種類別経営体数

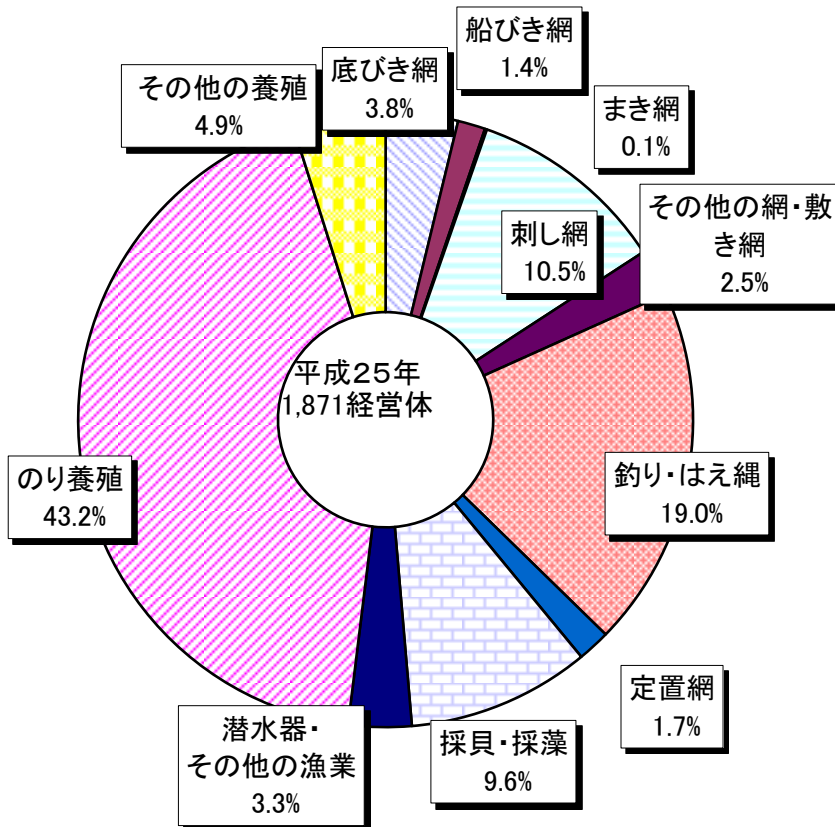


表-3 主な漁業種類別経営体

(単位:経営体、%)

区分	経営体数			増減率	構成比		
	平成15年	平成20年	平成25年	平20/平25	平成15年	平成20年	平成25年
総数	2,457	2,123	1,871	△ 11.9	100.0	100.0	100.0
底びき網	209	174	71	△ 59.2	8.5	8.2	3.8
船びき網	36	31	27	△ 12.9	1.5	1.5	1.4
まき網	3	3	2	△ 33.3	0.1	0.1	0.1
刺し網	244	204	196	△ 3.9	9.9	9.6	10.5
その他の網・敷き網	46	42	46	9.5	1.9	2.0	2.5
釣り・はえ縄	546	438	356	△ 18.7	22.2	20.6	19.0
定置網	39	36	32	△ 11.1	1.6	1.7	1.7
採貝・採藻	187	182	180	△ 1.1	7.6	8.6	9.6
潜水器・その他の漁業	99	88	62	△ 29.5	4.0	4.1	3.3
のり養殖	952	819	808	△ 1.3	38.8	38.6	43.2
その他の養殖	96	106	91	△ 14.2	3.9	5.0	4.9

## 2 漁 船

漁業経営体が漁業に使用した漁船のうち、平成25年11月1日現在保有する漁船の隻数は5,194隻で、平成20年に比べ1,302隻(20.0%)減少した。

種類別には、平成20年に比べ、無動力船が592隻(28.7%)、船外機付船が214隻(11.7%)、動力漁船が496隻(19.1%)減少した。

図-6 漁船の種類別船隻数の推移

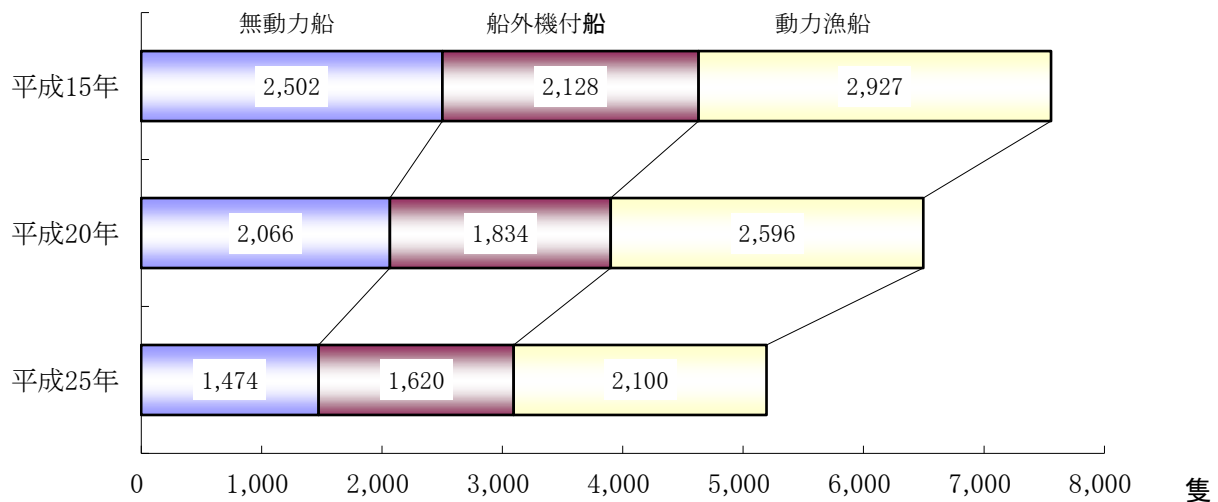


表-4 漁船の種類・規模別隻数

(単位:隻、%)

区 分	全 国				佐 賀 県						
	平成15年	平成20年	平成25年	増減率 平25/平20	平成15年	平成20年	平成25年	松浦海区	有明海区	増減率 平25/平20	
総 隻 数	213,809	185,461	153,034	△ 17.5	7,557	6,496	5,194	1,153	4,041	△ 20.0	
無 動 力 船	7,688	5,327	3,779	△ 29.1	2,502	2,066	1,474	23	1,451	△ 28.7	
船外機付き船	91,195	81,075	67,591	△ 16.6	2,128	1,834	1,620	282	1,338	△ 11.7	
計	114,926	99,059	81,664	△ 17.6	2,927	2,596	2,100	848	1,252	△ 19.1	
動 力 船	1トン未満	7,310	5,696	4,474	△ 21.5	104	147	67	47	20	△ 54.4
	1～3	36,107	29,121	22,187	△ 23.8	427	360	317	251	66	△ 11.9
	3～5	45,453	39,775	32,882	△ 17.3	2,225	1,928	1,512	443	1,069	△ 21.6
	5～10	15,508	14,726	13,241	△ 10.1	118	123	175	78	97	42.3
	10～20	8,702	8,445	7,836	△ 7.2	45	34	24	24	-	△ 29.4
	20～30	50	36	60	66.7	-	-	-	-	-	-
	30～50	105	81	74	△ 8.6	-	-	-	-	-	-
	50～100	471	346	256	△ 26.0	4	2	2	2	-	0.0
	100～200	518	393	322	△ 18.1	1	1	1	1	-	0.0
	200～500	685	436	323	△ 25.9	3	-	2	2	-	-
	500～3,000	13	4	8	100.0	-	1	-	-	-	-
	3,000トン以上	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-

### 3 漁獲物・収穫物の販売金額別経営体数

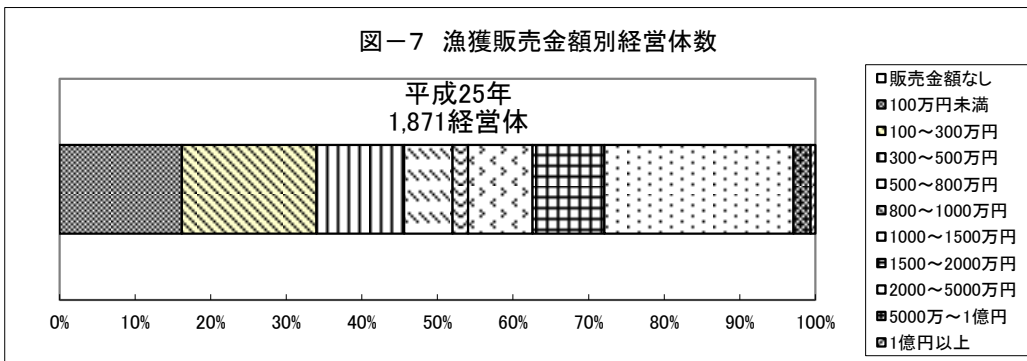
漁獲物・収穫物の販売金額別経営体数をみると、「2000万円から5000万円未満」の漁業経営体が468経営体(25.0%)で最も多く、次いで「100万円から300万円未満」が333経営体(17.8%)となっている。

海区別にみると、松浦海区では「100万円から300万円未満」が246経営体(31.0%)で最も多く、次いで「100万円未満」が197経営体(24.8%)となっており、有明海区では「2000万円から5000万円未満」が437経営体(40.6%)で最も多く、次いで「1500万円から2000万円未満」が173経営体(16.1%)となっている。

表-5 漁獲物・収穫物の販売金額別経営体数 (単位:経営体、%)

区分	平成25年					
	佐賀県	構成比	松浦海区	構成比	有明海区	構成比
計	1,871	100.0	793	100.0	1,078	100.0
販売金額なし	-	-	-	-	-	-
100万円未満	303	16.2	197	24.8	106	9.8
100～300万円	333	17.8	246	31.0	87	8.1
300～500万円	217	11.6	169	21.3	48	4.5
500～800万円	120	6.4	96	12.1	24	2.2
800～1000万円	38	2.0	22	2.8	16	1.5
1000～1500万円	160	8.6	18	2.3	142	13.2
1500～2000万円	178	9.5	5	0.6	173	16.0
2000～5000万円	468	25.0	31	3.9	437	40.6
5000万～1億円	42	2.2	6	0.8	36	3.3
1億円以上	12	0.6	3	0.4	9	0.8

図-7 漁獲販売金額別経営体数



### 4 漁業就業者数

漁業就業者数の総数は4,260人で、平成20年に比べると617人(12.7%)減少した。

また、これを海区別にみると松浦海区で322人(20.6%)、有明海区で295人(8.9%)減少した。

表-6 海区別漁業就業者数 (単位:人、%)

区分	総数			男			女			増減率(平20/平25)		
	平成20年	平成25年	増減数	平成20年	平成25年	増減数	平成20年	平成25年	増減数	総数	男	女
全国	221,908	181,253	△ 40,655	187,820	157,370	△ 30,450	34,088	23,883	△ 10,205	△ 18.3	△ 16.2	△ 29.9
佐賀県計	4,877	4,260	△ 617	3,560	3,269	△ 291	1,317	991	△ 326	△ 12.7	△ 8.2	△ 24.8
松浦海区	1,566	1,244	△ 322	1,299	1,105	△ 194	267	139	△ 128	△ 20.6	△ 14.9	△ 47.9
有明海区	3,311	3,016	△ 295	2,261	2,164	△ 97	1,050	852	△ 198	△ 8.9	△ 4.3	△ 18.9

# 佐賀県の海面漁業経営体・就業者推移グラフ

